

## 1. 医療研修推進財団の活動<sup>\*1</sup>

猿田 享男<sup>\*2</sup>

### 1. 医療研修推進財団設立の目的

当財団は、医療に関する各領域を横断的かつ総合的に捉え、高度な情報技術を活用することにより、医師をはじめ各種医療従事者を対象とした研修システムを開発し、このような研修の実施、関係団体が実施する研修への支援および関係情報の収集、提供を行うことによって医療の質の向上に寄与することを目的として、平成7年10月に厚生労働大臣（当時・厚生大臣）の許可を受けて設立された。現在14年を迎えたところである。

### 2. 医療研修推進財団が現在実施している主な事業

#### (1) 臨床研修に関する事業

##### 1) 臨床研修指導医養成講習会

厚生労働省の指導の下に、臨床研修協議会の委託を受け、1994年当財団の設立時から2002年までの9年間、臨床研修指導医養成講習会を実施してきた。この事業は、臨床研修医の指導に当たる臨床研修指導医の指導力の一層の向上を図ることが目的とされた。

この講習会はワークショップ形式で進められ、あらかじめ目標を定め、その目標を達成するために参加者全員による討論・作業を行い、成果を生み出す手順で進められた。この手法は、日本医学教育学会の方針に基づくものであった。9年間の受講者は1,806名であったが、2003年度からは、各病院団体等の主催で開催されている。

##### 2) プログラム責任者養成講習会

2003年度から、臨床研修協議会から委託され開催されている。この講習会の目的は、医師臨床研修のプログラム責任者が円滑かつ効果的な臨床研修を推進し、研修医の臨床研修目的達成を支援するために、助言・指導とその他の援助並びに指導医に対する支援を適切に行うとともに、研修プログラムの実施を管理・調整・評価する能力の向上を図ることである。

現在、1会場約50名で、1泊2日の講習を実施し、1年間約300名が受講している。

##### 3) 臨床研修病院ガイドブックの作成

臨床研修指定病院における研修プログラムや研修医に必要とされる情報をより具体的に掲載し、医学生、研修医、病院関係者に利用していただくことを目的として、ガイドブックが作成されてきた。このようなガイドブックの最初のものは、1983年11月に臨床研修研究会（現臨床研修協議会）から発行され、平成8年度から当財団が委託されて、内容を少しずつ修正しながら毎年発行している。

平成13年より書籍から電子化に全面移行し、CD-ROM版と当財団のホームページであるP-METを通じてのインターネットにより情報を提供している。

##### 4) 医師臨床研修マッチングプログラム

2003年度から新しい医師の臨床研修制度が発足し、臨床研修指定病院における2年間の研修が必修化された。これに相まって、研修希望者は研修病院を自分で選択する仕組みが必要とされ、2002年度に厚生労働省の補助事業としてマッチングシステム（医師臨床研修希望者と研修病院のお互いの希望を踏まえて一定の法則（アルゴリズム）に従い、効率的に組合せを決定するシステム）

<sup>\*1</sup> Activity of Foundation for Promotion of Medical Training

<sup>\*2</sup> Takao SARUTA 医療研修推進財団理事長

表1 マッチング参加状況と全体のマッチ率（平成16年度と平成19・20年度の比較）

	平成16年度	平成19年度	平成20年度
参加者数（名）	8,283	8,543	8,416
希望順位登録者数（名）	8,109	8,291	8,167
希望順位未登録者数（名）	174	252	249
参加者最大希望順位登録数	50	24	40
参加者最小希望順位登録数	1	1	1
参加者平均希望順位登録数	4.0	3.48	3.53
研修プログラム数	1,076	1,357	1,472
参加病院数	851	1,090	1,091
募集定員（名）	10,870	11,563	11,292
マッチ者数（名）	7,756	8,030	7,858
マッチ率（%）	95.6	96.9	96.2

（医師臨床研修マッチング協議会ホームページ <http://www.jrmp.jp/>）

表2 言語聴覚士の国家試験、免許登録の状況

## (1) 言語聴覚士国家試験実施状況

回数	受験者数（名）	合格者数（名）	合格率（%）
第1回	4,556	4,003	87.9
2	1,565	664	42.4
3	1,908	936	49.1
4	2,113	1,137	53.8
5	2,447	1,027	42.0
6	1,658	1,130	68.2
7	1,812	1,012	55.8
8	2,226	1,389	62.4
9	2,323	1,266	54.5
10	2,574	1,788	69.5
11	2,347	1,344	57.3
合計	25,529	15,696	61.5

## (2) 免許登録事務

登録者数 15,675名（平成21年12月31日現在）

が構築された。また、厚生労働省の指導の下に、日本医師会、全国医学部長病院長会議、臨床研修協議会、医療研修推進財団の4団体からなる医師臨床研修マッチング協議会が設けられ、その事務局が当財団に置かれ、平成15年から研修医マッチングが開始され、その実績は表1の通りである。

## (2) 言語聴覚士国家試験・登録事務

言語聴覚士法（1996年12月19日制定）は、音声機能、言語機能および聴覚に関するリハビリテーションを行う専門職として言語聴覚士の資格を定め、医療の普及と向上に寄与する目的で制定され、1997年9月1日に施行された。同法第12条および第36条の規定に基づき、当財団が指定試験機関および指定登録機関として1997年9月

30日に厚生大臣（現・厚生労働大臣）の指定を受け、国家試験事務および登録事務を行っている。

これまでに11回の試験を終了しており、第1回目から平成21年に行われた第11回までの受験者数と合格率、また言語聴覚士の登録者数は表2に示す通りである。

### (3) 理学療法士・作業療法士養成施設等教員講習会

理学療法士・作業療法士養成施設の教員（実習施設における指導者を含む）の養成および資質の向上を図るため、厚生省（現・厚生労働省）が1974年から、関連各団体の協力を得て、新しい

知識・技能を修得させ、併せてリハビリテーション医療の普及向上のための講習会を実施してきた。1997年度から、当財団がこの講習会の事務局を担当することとなった。

現在、日本リハビリテーション医学会、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、全国理学療法士・作業療法士学校連絡協議会の協力の下に講習会が実施されている。

### (4) その他の事業

以上の事業のほかに、放射線技師の研修会の支援や癌の治療に携わる医師と患者のコミュニケーションスキルに関する講習会の支援等も行ってきた。